

東京経済大学大学院 経営学研究科 入学試験 (2025年度 1期入試)

課 程	修士課程
入試区分	一般入試・留学生入試
試験科目	専門科目（会計学）
出題意図	修士課程で学ぶべき経営学の専門分野（会計学）に関する学士レベルの専門的な知識を修得していること、および、それ等の知識に基づく基礎的な理解力・創造力を問う問題である。
解答例	<p>解答例を公開することは、受験生を特定の解答に誘導し 筆記内容が画一的になる恐れがあり、筆記試験が意図する知識・思考力・表現力・創造力等の把握を困難にするため、解答のポイント（採点基準）のみを公表しております。</p> <p><解答のポイント（採点基準）></p> <p>『大学院募集要覧』記載の「参考文献」を念頭に置き、主に以下の点を評価対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 設問の内容を把握できていること。(2) 専門分野（会計学）に関する学士レベルの専門的な知識を、上記「参考文献」の学習を通じて、修得できていること。(3) 上記「参考文献」で学習した知識と設問との関係性を明確に認識できていること。(4) 設問に対して論理的・創造的に解答できていること。(5) 上記の諸点を無理なく読み取れる文章を作成できていること。

※ 公開している入試問題等について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

2025年度

(一般・留学生入試 1期)

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題
(1科目・2題:試験時間90分)
【10:00～11:30】

2024年10月 5日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

【会計学】 ※ 以下の問題1・問題2の両方とも解答しなさい

問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。

問題 1

金融商品取引法と会社法による財務会計の相違をその機能の観点から説明しなさい。また、現行の企業会計は、金融商品取引法会計と会社法会計のいずれの立場から主として策定されていると考えられるか(いずれの機能を重視していると考えられるか)説明しなさい。

問題 2 以下の問1と問2の両方に答えなさい。

問1 事業部制組織で使われる振替価格とは何か、どのような目的で使用されるかを説明しなさい。

問2 振替価格がどのような場合に、どのような基準で設定されるかを説明しなさい。